

御製 五首

平成七年

阪神・淡路大震災

なみをのがれ戸外に過す人々に雨降るさまを見るは悲しき

平和の礎^{いしじ}

沖縄のいくさに失せし人の名をあまねく刻み碑は並み立てり

原子爆弾投下されてより五十年経ちて

原爆のまがを患ふ人々の五十年^{いそとせ}の日々いかにありけむ

雲仙普賢岳噴火の被災地を訪れて

四年^{よとせ}余も続きし噴火収まりて被災地の畑^{はた}に牧草茂る

勤労奉仕団の人々より今年の作柄を聞きて

豊かなる実りなりしといふ人の多き今年の秋を喜ぶ

第四十六回全国植樹祭

広島県

平らけき世をこひねがひ人々と広島の地に苗植ゑにけり

第五十回国民体育大会秋季大会

福島県

福島の競技場の空晴れ渡り第五十回国体開く

第十五回全国豊かな海づくり大会

宮崎県

すこやかに育てきたりしおおにべを油津漁港の海に放しぬ

皇后陛下御歌 三首

平成七年

雛のころに

この年の春燈しゅんとうかなし被災地に雛なき節句めぐり来たりて

植樹祭

初夏はつなつの光の中に苗木植うるこの子どもいくさらに戦あらすな

五月 広島を訪ひて

被爆五十年広島広島の地に静かにも雨降りそそぐ雨の香のして